

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成21年度事業)

事業の概要						
事業開始年度		平成17年度				
総合 計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	根拠法令・例規等	福祉電話貸与規則
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目	施策	03	障害者（児）福祉		
	事務事業名			12		
				問 合 先	担当課（室）	社会福祉課
					職・氏名	係長・大道健一
					電 話	6 4 - 1 8 2 4
				このシート作成に要した時間		0.5 時間

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	市内在住で世帯員のいずれもが所得税を課せられていない在宅の重度身体障害者で、コミュニケーション及び緊急連絡等の手段として必要性が認められる者。
目 的 (何のために)	電話を貸与することで、電話による安否確認、各種の相談等を行うことにより福祉増進を図る。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	電話を貸与することで、電話による安否確認、各種の相談等ができ一層の福祉増進を図る。

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	福祉電話貸与事業	福祉電話を貸与することで、該当者の福祉増進を図る。	○

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費		81	22	0
	必要人員人件費	千円	0.01人	0.01人	0.00人
	事業費計		141	98	0
	国県支出金				
	受益者負担		39		
	繰入金債	千円			
	その他()				
	一般財源		102	98	
	受益者負担比率	%	27.7%		-
	結果指標名	単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	福祉電話利用者	説明	福祉電話の利用者の数		
	結果指標量	人	3	1	0
	対前年比	%	-	33.3%	0.0%
	活動コスト	円	141,000	98,000	0
	単位当たりコスト		47,000	98,000	#DIV/0!

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
福祉電話利用者	目標値 (A)				
	実績値 (B)				到達目標値
	達成率 (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明					
コミュニケーション及び緊急連絡用として福祉電話を利用してもらいたい。					

事務事業の評価		妥当性評価 <A~E> C
妥当性の評価	市の関与の妥当性	
	市民ニーズ	
効率性の評価	コスト	効率性評価 <A~E> C
	目的達成度	
有効性の評価	市民参画度	有効性評価 <A~E>

進行年度 (H22年度) の改革改善内容						
状 況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説 明	平成21年3月で該当者がいなくなっている。					

総合評価	
近年、携帯電話が普及しており、固定電話の需用が低くなってきている。	評価区分 <A~E> C
	妥当性 有効性 効率性

平成23年度の方向性 及び 取組目標						
方 向 性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取 組 目 標	21年度該当者がいなかったため、事業廃止を検討する。					

留意事項
事業の目的やその数値の評価指標である成果指標を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい